



特集1

ECOビジネスへの新たな取り組み ~びわ湖環境ビジネスメッセ2008の展覧~

三技協では、2008年の事業計画の中で、【ECO-Optimization カンパニー】というブランド戦略を含めた「環境ビジネスへの挑戦」を掲げています。環境ビジネスを通して、

1. ECO-Optimization企業としての知名度を構築する。
2. 現業務の隣接事業化や異業種交流を高め事業貢献する。
3. 地域経済活性化のための推進企業になる。

というミッションを定め、独自の切り口で取り組みを始めました。

その第1弾として、11月5日～7日まで開催される国内最大級の環境産業総合見本市【びわ湖環境ビジネスメッセ2008】へ、当社製品およびサービスを出展いたします。

三技協はこれまで、他分野展示会への出展は行って参りましたが、環境ビジネスに関しても、社会的責任を担った企業としての取り組みが必要であると考え、出展に至っております。今回は、地方拠点を含む当社各部門が統合的に出展に携わり、全社的な展開として自然と位置付けられました。それは、三技協全体として、環境ビジネスに対する重要性を意識していることの表れでもあります。

出展にあたり、環境・エコロジーの観点から、お客様の抱える課題を共有させていただくため、【ECO-Optimization】とテーマを掲げました。三技協の持つ[者][物][モノ]の各種サービスを、コスト削減、企業情報の整理、社員のワークスタイルなど、「会社」そのものを「エコ化」できるサービスとしてご提案を

させていただきたいと考えております。

例えば、当社商品である『PlatformV System』を導入していただくことで、情報漏えいの心配なく社外PCから会社サーバへのアクセスが可能になり、在宅勤務など働き方の多様化が実現できます。

ワークライフバランスの最適化を促進することは、有能な人材の流出を防ぐだけでなく、生活の豊かさを生み出します。

「心のゆとり」が「新しい価値」を

創造し、価値や創造のエコ化へと発展し定着することで、CO2の削減という結果として具体的な指標に表れてくると考えま



す。「エコ」と「豊かさ」という概念を両立させ、人に優しく地球にも優しい、自分にとっての「良い事」を再認識していただくことが、三技協の提供する【ECO-Optimization】サービスです。



三技協が提供するOptimization「製品・サービス」+「エコ価値」=「ECO-Optimization」によって動き出す。「ECO-Optimization Cycle」が、意識化・定着化することで、環境にやさしい「行動」へと導きあらためて、「ビジネス」としてさらなる新たな「効率化」や「豊かさ」を追求したいと考えます。

Brain Storming 2008

蝉の鳴き声に一段と暑さを感じる7月24日、ブレインストーミング2008 (BS2008) が始まりました。社内の60名を越える参加者は、思考をぶつけながら新しい気付きを生むために、3日間を濃密に過ごします。初日は本社の会議室にて顧問や社長の講義を聴き、残りは多摩の永山にある研修施設へ移動し、一泊二日のセッションが行われました。



諏訪顧問による講演「サービスサイエンスとオプティマイゼーションサービス」

ブレインストーミングはその場で何かを決める必要はありません。様々な意見やアイデアを沢山出し、それを纏めたり変更させることにより、新



しい考え方を生み出してゆく方法です。しかし、やみくもに出し合うのではなく、方向性を保ちながら誘発を続ける必要があります。永山では社外取締役であるR モース（米国ネバダ大学教授）が、

ファシリテーターとしてセッションを担当し、弊社の現状と将来について様々な意見が取り交わされました。

BS2008では、お客様に Optimization サービスを提供しているオプティマイゼーションシステム本部より、複数のオプティマイザーが参加し、様々な発言内容を瞬時に分解し、キーワードを作り、問題解決のために情報を形創って行きました。

Optimization-Ware プロモーションDVD制作

三技協では、【The Optimization Company】を掲げる企業として、今までやってきた事、これから行う事を[Optimization-Ware]という概念に体系的に定義いたしました。更により多くの人に[Optimization-Ware]の概念を理解していただくため、具体的な表現で分かりやすく解説したプロモーションビデオ(以下PV)を制作いたしました。

脚本・制作など全般に渡ってプロデュースをして下さったのは、作冬話題になった大ヒット映画『山古志村のマリと三匹の子犬』の原作者でもあるクリエイターの大野一興氏です。PVのストーリー展開は勿論、コンピューターグラフィックを駆使した斬新な画面展開にも、三技協の新たなステージをイメージさせるような仕組みが散りばめられています。



キャスターとの共演でニュース番組のような仕上がります。

大野氏は制作にあたり、オプティマイゼーションシステム本部メンバーを中心にセッションを重ねた上で、社長、副社長、取締役との対話を行いました。その中から当社の経営のあるべき姿についての概念を細かく分析し、オプティマイゼーションストーリーを組み上げて下さいました。



随所に社員が出演しており、親近感を抱きます。また、複雑な情報も巧みなCGにより明快に表現されています。

今回このPVを制作したことにより、社員の誰もがお客様に対して当社の【Optimization-Ware】をご説明することができるようになります。『社員全員がオプティマイザー』を目指す、新しい三技協の取り組みです。

是非多くの皆様にこのPVをご覧頂き、三技協の新しい躍動を感じて頂きたいと思っております。

インターンシップ学生続々 ~三技協のダイバーシティに対する取り組み~

当社では、外国人留学生や日本人大学生のインターンシップを毎年実施しております。今夏はアメリカ人留学生が2ヵ月半、日本人大学生が2週間、中国人留学生2名が6日間と、これまでを大きく上回る規模での受入れを行いました。

受け入れプログラムの特徴

毎回受け入れ部署の特色を活かした多様なプログラムを実施しております。同一部署に留まらず、部署を跨っての業務を体験することも可能です。

主な内容として、お客様企業への営業同行、来社頂いた業者様との打合せ同席、会社WEBサイトの作成、社内報の原稿作成等があります。

さらに今回は、学生への職業体験の提供のみに留まらず、社内の人材育成という視点に立った内容として、各部門の

若手社員たちとのワークショップを行いました。向上意欲や意識の高い留学生と共にワークセッションすることは、当社の社員が、多方面からの新しいものの見方や、多様性を受け容れる意識を育む良い機会にもなります。

今後の受け入れ計画

当社では以前からインターン生の受入れを行っており、回を重ねるごとにその内容も充実して参りました。グローバル化や少子高齢化による、社会の変化に対応できる環境構築の意識を社内に根付かせるため、今後も建設的な受け入れを積極的に継続していくことを目標としております。



中国人留学生の研修発表会。プログラムに関わった多くの社員や役員が参加しました。

What's New 三技協

【サンフェスタ2008開催】好天に恵まれた8月1日、横浜港に面するヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルにて、弊社の夏の行事「サンフェスタ」が開催されました。

当日は、横浜港にて神奈川新聞主催の花火大会が行われ夏の夜空を彩ります。普段の花火大会ではなかなか見る機会がない「2尺玉」や「大スターマイン」などの大きな玉を含め総数8,000発も打ち上げられ、約26万人以上の方が楽しみにしている大会です。



この花火を間近に眺める「サンフェスタ2008」会場は、弊社の「夏祭り」を楽しむ社員や家族、お客様、地方営業拠点と結ばれた映像の向こうからも、外の熱気に負けない楽しさが溢れていました。今年は沢山の子供達の笑顔が記憶に残るサンフェスタでした。

【ミスピーチ来社】8月5日、福島市副市長の片平様、商工観光部長の柴田様と共に、甘くておいしい福島産の桃を両手に2名のミスピーチが三技協本社にいらっしやいました。福島市と弊社は福島工場をご誘致頂いたときから、大変良い関係を続けさせて頂いております。



【SGCゴルフコンペ】猛暑のなかの8月7日、相模原ゴルフクラブにて第41回SGCゴルフコンペが開催されました。

今年も多くのお客様にご参加いただき、総勢70名がサウナのようなコース上で競い合わせ、三井住友海上火災保険の石曾根様が優勝されました。

編集後記

今年は集中的な豪雨が印象的な夏でした。秋になって台風や秋雨前線のおかげで、傘を手放せない毎日が続いています。社内では窓の外とは対称的に各部署での活気が伝わってきます。そろそろ爽やかな秋晴れにもお目にかかれることでしょうか。次号は12月発行予定です。今後のニュースにもどうぞご期待ください。 A

発行者 株式会社 三技協
発行責任者 丸田力男
住所: 横浜市都筑区池辺町4509
TEL: 045-931-1111 FAX: 045-931-0001
E-mail: info@sangikyo.co.jp
URL: www.sangikyo.co.jp